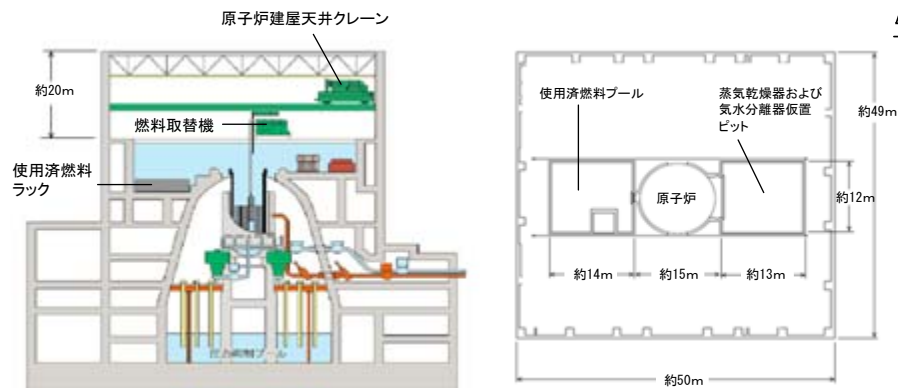


当所2号機は、設備の維持管理の簡素化の観点から、平成25年9月17日より原子炉から使用済燃料プールへの燃料移動作業を実施していましたが、10月16日に原子炉に装荷されている全燃料(764体)について、使用済燃料プールへの移動が完了しました。

今後、東北地方太平洋沖地震等による影響に関する知見の拡充を目的とした原子炉内構造物等の目視点検を、11月中旬頃より開始する予定です。

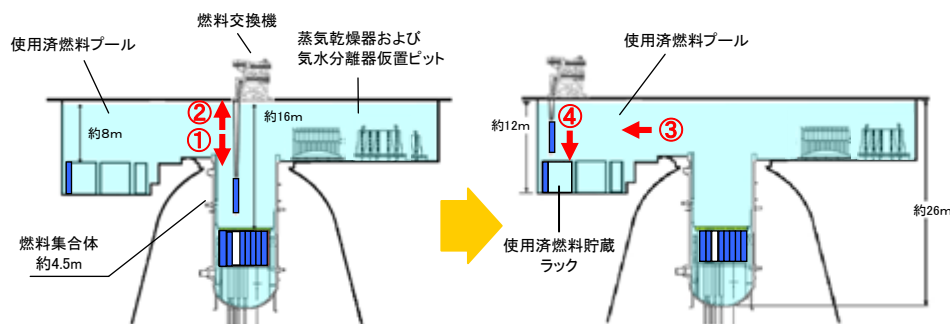
1. 原子炉ならびに使用済燃料プールの配置



【断面図】

【平面図(原子炉建屋6階)】

2. 原子炉内から使用済燃料プールへの燃料移動手順



- ① 燃料交換機に装着された燃料つかみ装置を原子炉内の燃料集合体位置へ降下する。
- ② 燃料つかみ装置によって燃料集合体をつかみ、吊り上げる。

- ③ 吊り上げた燃料集合体を、水中移動で使用済燃料プールへ移動する。
- ④ 燃料集合体を使用済燃料貯蔵ラックへ収納する。

3. 燃料移動作業の様子(実績)

燃料移動にあたっては、事前にコンピュータにプログラミングして自動制御で行いますが、作業中は、中央制御室ならびに作業現場(燃料交換機操作室、燃料交換機上)に専任の人員を配置し、連携を取って確認し合いながら764体ある燃料集合体を1体ずつ移動しました。



中央制御室
(平成25年10月16日撮影)

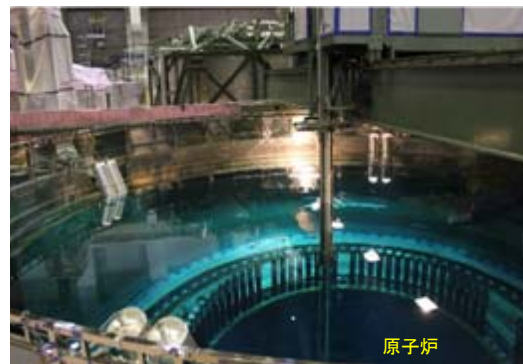


燃料交換機操作室
(平成25年10月16日撮影)

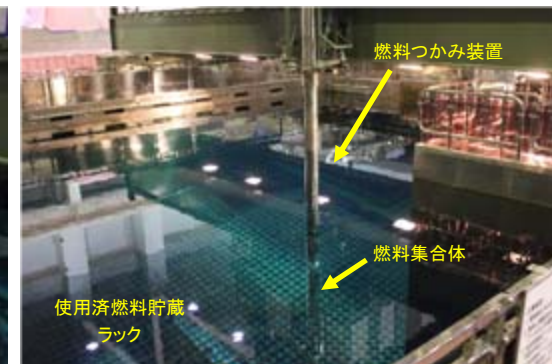


燃料交換機上
(平成25年10月16日撮影)

- 中央制御室：作業全体の監視・確認(原子炉の未臨界監視等)
- 燃料交換機操作室：燃料移動の順番・位置の確認等
- 燃料交換機上：原子炉からの引抜きおよび使用済燃料貯蔵ラックへの収納の確認等



原子炉から燃料集合体の取り出し
(平成25年10月16日撮影)



使用済燃料貯蔵ラックへの収納
(平成25年10月16日撮影)